

アントレプレナーシップ学環

2026 NEW!

FACULTY GUIDEBOOK 2027

INTERFACULTY PROGRAM IN ENTREPRENEURSHIP



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

アントレプレナーシップ学環事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-1590
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



公式Instagram
@kyotosangyo_university



公式YouTube
@KyotoSangyoUniversity



京都産業大学
Webサイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

2026年3月発行



ビジネス
さあ、未来の話をしよう。

ABOUT

Interfaculty Program in Entrepreneurship

暮らし方・働き方・学び方・エンターテインメント……
技術革新と価値観の変化が、世界を日々アップデートし、
「過去の延長線上に、これからはない」時代。

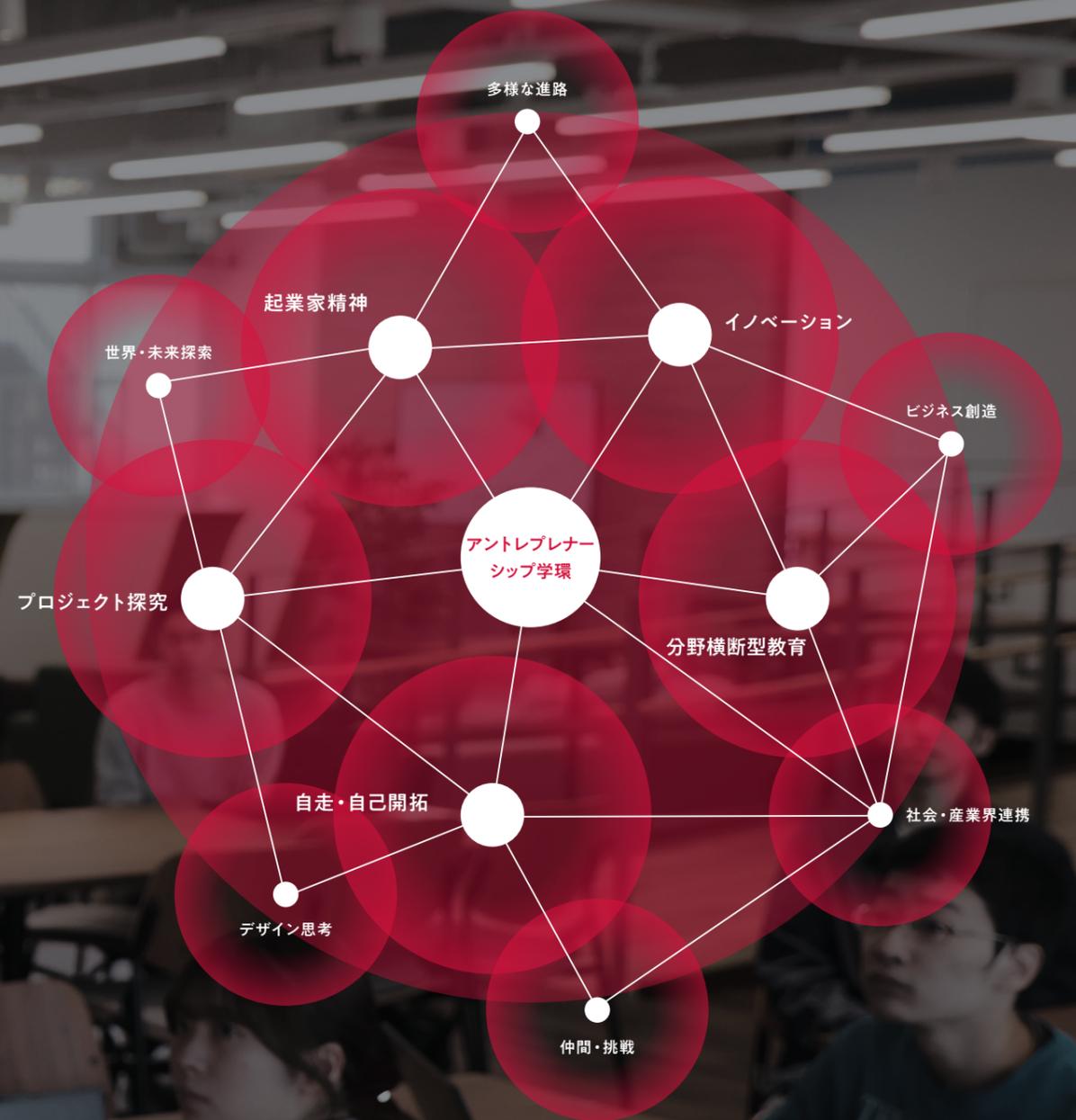
未来について語るだけでは、もう足りない。
「問い」を立て、行動し、自分の「解」を見つける。
それを価値(ビジネス)に変え、社会に実装する。

そんな「未来の当事者」が、今求められています。

アントレプレナーシップ学環は、未来への探究心を起点に、
ビジネスという手段で社会変革に挑む力を育む場。
志を同じくする仲間と共に、起業家的な精神と挑戦の姿勢で、
「これまで」を超え、「これから」を創り出す人になるために。



学環紹介
詳細はWebへ



アントレプレナーシップとは
AIと共に生きる時代、「人」に求められるのは、
社会にプラスの変化=イノベーションを生み
出す力。変化を待つのではなく、自ら変化を起
こすこと。その原動力こそ、「アントレプレナー
シップ(起業家精神)」です。これは、会社を起
こす人(起業家)だけのものではありません。

がっかん学環とは
複数の学部の教育資源を結集し、学問領域を
横断して学ぶ「学部等連係課程」。学部と同様
に学士号を授与する、大学教育の新しいカタ
チです。自らの意志で学びをつなぎ、知の領域
(環)を拡げていくスタイルから、「学環」と呼
びます。

MAP of Keywords

探究をビジネスに。挑戦をイノベーションに。
アイデアをカタチにすることに没頭し、分野を超えて仲間
や世界とつながる。自分で未来をつかみ取る、変革の舞台。

京都産業大学の歴史は、創設者・荒木俊馬の挑戦から始まります。我が国の将来を担う産業人の育
成を使命とし、当時山林だった京都・神山に世界レベルの総合大学を築く理想を掲げ、実現に奔走。
1965(昭和40)年、ついに開学しました。この創設者に代表される、未来を構想し、その実現に挑
む精神と困難を切り開く突破力——アントレプレナーシップは、本学の原点であり、伝統です。



創設者
荒木 俊馬
Araki Toshima

FEATURES

ただ学ぶだけではない。伴走から「自走」へ。

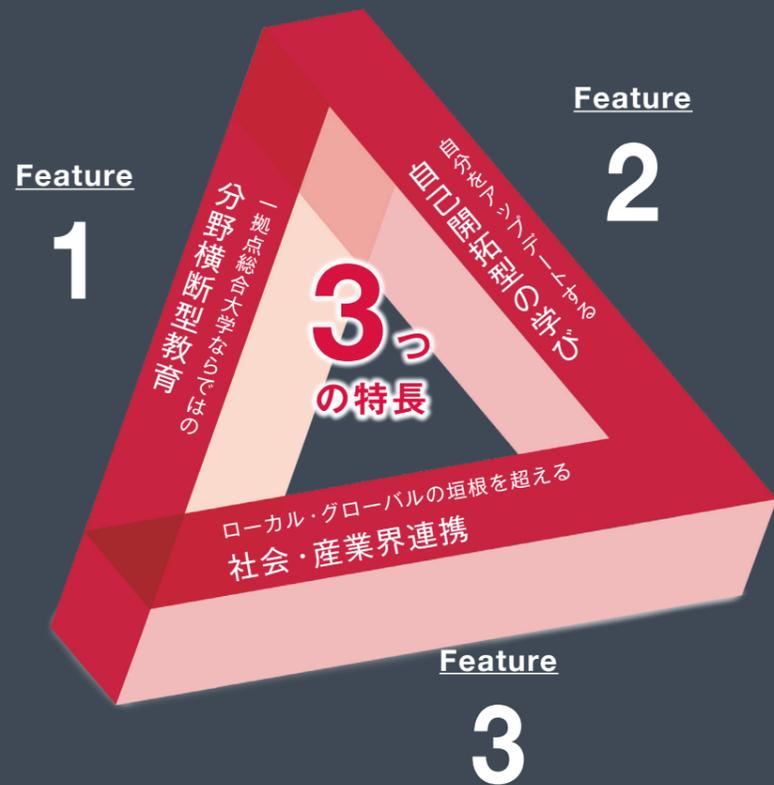
アントレプレナーシップ学環の特長

教室を出てリアル（現実社会）で学び、
自らのアイデアをリアルにしよう。

REAL

- Resilience 突破力 | カタチにしよう
- Enhancing 世界観 | 世界・未来をみよう
- Ambition 大志 | ビジョンを持とう**
- Leadership 主体性 | 当事者として動こう

「REAL」は、アントレプレナーシップ学環の教育のコンセプトです。
この4文字には、学生に意識してほしい4つのことも込めています。



ここで学ぶのは、ただの知識ではありません。

誰かの正解をなぞるのではなく、自ら「問い」を立て、知識をフル活用する。そして、自分の「解」をビジネスとして実現すべく、果敢に挑戦する「変革の当事者」になろう。

そのために、ビジネスを創り動かす経営学や法制度、社会構造を読み解く専門知識を駆け、未来をうみだすテクノロジーを探索しよう。新しい「コト（事業）」を起こすために。

挑戦するから、失敗がある。失敗があるから、発見がある。発見があるから、これまでとは違った景色が見える。

アントレプレナーシップ学環の教育は「REAL」。

さあ、仲間と一緒に、未来の話をして、変えていくこと、楽しもう。

変えていくこと、楽しもう。



Feature-1

分野横断型教育

ビジネスに、文系・理系の境界はありません。だから、学びは経営学・法学・社会学に、理系のセンスがクロス。AI、DX、脱炭素、宇宙ビジネス……。知と人が交差して、想像を超えるアイデアが生まれるのは、全ての学部が集結する「一拠点総合大学」ならではの、知的好奇心と探究心に火をつけ、未来を創る舞台は、もう整っています。

実績ある教育プログラムが基盤。

POINT 1

アントレプレナー育成プログラム

文理融合型の正課教育と、課外における起業支援を軸とする、全学生対象「アントレプレナー育成プログラム」がこの学環の基盤。イノベーションセンターによる体制や学内外の活動拠点



POINT 2

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

2030年代をたくましく生き抜くための素養である、データサイエンスやAIの知識についてリテラシーレベルから体系的に学修。文理融合型で文系学生にも興味深い内容です。文部科学省の認定をいち早く取得して



POINT 3

キャリア形成支援プログラム

文部科学省「令和5年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」で最優秀賞の実績を持つ京都産業大学のキャリア教育。起業だけでなく豊かなキャリア観を、このプログラムの科目を活用して早い段階から磨きます。



Feature-2

自己開拓型の学び

少人数制でしっかり学び、教員による伴走から、やがて仲間と共に「自走」へ。その核となる教育が、「セルフ・カルチャー（自己開拓）」です。ビジネスコンテスト出場や起業活動など、各自が企画して挑戦。その成功・失敗を分析して自分の“伸びしろ”に気づき、自らをアップデートし続ける姿勢を獲得します。

次の一手は、自分で決める。自分で動く。

最初に「探究・挑戦したい」ことごの目的や計画・目標を示し、教員から助言を受けた後は、当事者として実行。進捗を仲間と共有し、中間発表で検証を重ねます。最後には、成否の要因や不足を語り合い、新たな視点を心得、次の自走につなげます。2年次はプロジェクト探究、3年次はビジネス深化、4年次は集大成へと進行。仲間を募り、必要な知識を学び足し、経験を積み、アントレプレナーシップと自走力を段階的に高めます。



試作品の製作、海外でのニーズ調査、先輩起業家との共創、家業の分析……机上では生まれない「予想外の発見」から、独創的なビジネスが動き出す。

探究

与えられた問題を解くのではなく、社会課題の深層を掘り下げ、解を探究する。「仮説」としての事業計画を組み立てる。

試行

広大なキャンパスや京都を舞台に学部や学年、大学の枠を超えて試行する。現場での発見から計画の次の一手を導き出す。

没頭

変革を志す仲間から助言と熱気を受け、ビジネスを社会に仕掛ける。リアルな反応を糧に、構想の深化に没頭する。

成長

挑戦の軌跡を振り返り、成果の言語化を通じて、確かな成長と「不足」を実感する。より高く、遠くへと、次の自走へつなげる。

フィールドは京都



伝統と革新、ローカルとグローバルが交差し、アイデアを試す最高の舞台——それが「京都」。街全体に広がる連携ネットワークを生かし、挑戦はキャンパスの枠を超える。

海外機関との連携



韓国や東南アジアなど、スタートアップの最前線へ「遠征」。成長著しい市場の熱気とスピードを肌で感じ、グローバルな視点でビジネスの種を見つける。

卒業生ネットワーク



ルーキーから実業家まで、各界の最前線で活躍する16万人もの卒業生は、京都産業大学の大きな資産。未来を拓く情熱を浴びて、憧れがやがて自分の「目標」になる。

起業家・企業人との交流



成功も失敗も知り尽くしたフロントランナーたちの、教科書にはないリアルな経験談やストーリーに触れる。「本物」が放つ言葉と熱量から、一歩踏み出す勇気を手に入れる。

Feature-3

社会・産業界連携

各界で活躍する卒業生や起業家、京都を中心とする社会・産業界、海外機関との強力な連携を有する京都産業大学。こうした豊富な資源を教育に投入し、実務家が参画する授業や海外リサーチ、外部機関によるメンタリングなど、教室内外で刺激とリアルな知識を得るための機会を多数用意。それらを存分に活用し、卒業までに「起業家100人と出会う」。これも教育目標です。





詳細はWebへ

4-YEAR STUDIES

教えてもらうだけじゃ、物足りない。「成長」をつかみとる。

4年間の流れ

アイデアをビジネスへと変える学びは広範囲。だからこそ、体系的に教育をデザイン。段階的に実践を積み重ね、「未来の当事者」に不可欠な「5つの学修目標」を達成します。伴走から、自走へ。

取得を推奨している
資格

- グローバルプロジェクトマネジャー(NPO法人グローバル人材開発センター)
- 初級地域公共政策士(一般財団法人 地域公共人材開発機構)

目標 1 世界観を広げ、自らの見解を確立できる

目標 2 アイデア・構想を事業計画化し、他者に提示できる

目標 3 実証的企画を試行し、構想・計画を精緻化できる

目標 4 目標に向けて、自律的に事業を進めることができる

目標 5 起業家精神を持って、挑戦し続けることができる

1st YEAR [1年次]

問いの旅の始動

社会課題、ビジネスの仕組み、人文学、テクノロジー……多様な知識や課題に触れ、「世界・未来をどう見るか」を仲間と語り合う。AIを駆使する力や交渉力、キャリア観などを磨く。挑戦に踏み出すための、基盤づくりの1年。



2nd YEAR [2年次]

マイプロジェクトの探究

挑戦心に点火して「やってみよう!」のステージへ。起業家や多様な人々と出会い、自分のプロジェクトを探究し、企画を立てて行動を起こす。デザイン思考やプロトタイピングで実践力を磨き、現実社会へと繰り出す。



3rd YEAR [3年次]

ビジネスを社会に仕掛ける

プロジェクトは本気の挑戦へ深化。資金調達や社会実装、ビジネスコンテストなどに挑み、倫理観を磨きながら社会に仕掛ける。実践との往還で、経営・法・社会学の学びの環を拡げ、経験と仲間を増やし、社会にインパクトをうみだす。



4th YEAR [4年次]

挑戦を語り、次の自走へ

最終ステージは「軌跡を未来につなげる」時間。仲間と挑戦を振り返り、自分の強みと人生のビジョンを再定義。起業、就職、家業継承、地方創生など、自ら挑むべき進路を定め、未来の当事者として走る。新たな物語が動き出す。



共通教育科目

AI・データリテラシーやキャリア観など、これからの社会への素養を身に付け、関心を広げる

- 人間科学教育科目(14テーマ)
- 英語教育科目
- 「データ・AIと社会」
- 「自己発見と大学生活」
- 「スタートアップ・キャリアデザイン」
- 「京都産業大学と京都を知る」など

基盤科目

起業家精神やアイデアを具体化するための知識を体系的に学ぶ

演習科目

段階的にビジネス創造・革新のための技能や姿勢を身に付ける

アントレプレナーシップ科目

- イノベーション基礎
- アントレプレナーシップと組織
- 交渉力とプレゼンテーション など

展開科目

各自の構想に必要な知識の幅をさらに広げる

経営学領域

- 起業ファイナンス
- リーダーシップとチームビルディング
- 人的資源管理と起業 など

基礎演習Ⅰ

4年間の学修計画を立案。論理的思考、文章力、情報収集力などを身に付ける

セルフ・カルチベーションⅠ

ビジネスを確立。学び続ける姿勢も身に付ける

セルフ・カルチベーションⅡ

ビジネスの源となる社会課題などを探究。仮説に基づき調査し、社会との接点を持つ

ビジネス探索科目

- 科学技術と未来社会
- 食と地方創生
- 宇宙ビジネスの現状と未来 など

法学領域

- 商法概論
- 労働法Ⅰ
- 会社法Ⅰ(会社の組織とガバナンス) など

基礎演習Ⅱ

事業アイデアを練り、試行する。成果を検証し、構想を磨く

セルフ・カルチベーションⅢ

起業準備やコンテストなどに各自挑戦。結果を客観的に分析し、次の行動へむすぶ

ビジネスデザイン科目

- デザインイノベーション
- 事業創造と伝統産業のリニューアル実践
- 事業承継ケーススタディ など

現代社会学領域

- 地域デザイン論
- 観光社会学
- ソーシャルベンチャー論 など

ビジネスクリエーション演習A・B

A: 実現可能な起業型事業計画を策定
B: 社会課題解決型の事業構築に挑む

想定する進路像

「起業」だけでない進路

- 起業、大学発ベンチャー
- 企業内起業家(イントレプレナー)、企画部門・経営人材
- 家業継承(第二創業)
- 自治体(地方創生)
- NPO(社会起業家)
- グローバル企業 など

特色 ① 学びと実践を往還する4年間

全学生対象の「アントレプレナー育成プログラム」が基盤。異なる専門性を持つ仲間と学ぶ。教室を飛び出し、大学の枠さえ超えて行動し、交流やコンテストなど、さまざまな場で学びを試す。予期しない連鎖が広がるから、自分の可能性も広がる。

特色 ② テクノロジー×ビジネスを探索

AI、DX、フードテック、エンターテインメント、メディア、脱炭素、宇宙……。ビジネスは先端のテクノロジーと融合し、進化を加速する。その最前線を多彩な科目で探索し、自らのビジネスの材料にする。視野と想像を広げ、ワクワクする未来社会を描く。

特色 ③ 学環だからこそその展開科目

学部が学問を深めるのに対し、学環は自らのプロジェクトを起点に学びの環を拡げる。経営学・法学・社会学を横断し、自分に必要な知識を選び、学び足す。学びの豊かさが、ビジネスの可能性を広げ、主体的に学び続ける姿勢を育てる。

特色 ④ 起業も就職も自在な進路

産業界も、探究心・挑戦心とビジネスをゼロから創り出す起業力を持つ、「企業内起業家」や「経営人材(CxO候補)」となる人を熱望。だから、起業はもちろん、多様な進路が開ける。人生100年、どんな変化に直面しても突破できる「選択肢」を手に入れる。



詳細はWebへ

INTERVIEW

フロンティア・フェローインタビュー

一線の知見が、次のレベルに導く

ビジネスやアントレプレナーシップ教育の最前線で活躍し、世界を舞台に知見を磨いてきたプロフェッショナルたち。そんな“本物”たちが「フロンティア・フェロー」として参画[※]し、社会・産業界のリアルを教育の場へダイレクトに接続。その情熱と助言が、学生の「本気の挑戦」を次のレベルへ導きます。

※本学卒業生を含む5人の学外有識者が、本学環開設時に参画します。

Topic :

学生の特権をフル活用して行動する
ビジネスと人生を豊かにするために

Outline :

「自分にもできる」と信じ、自分の“旗”を高く掲げてください。物事が動く時には必ず熱が発生します。その熱源に自分になるという意志を持ち、学生の特権をフル活用して多くの起業家に出会い、とにかく行動してください。起業は通過点です。失敗を恐れず行動し、課題を考え続けること、学び続けること。ビジネスと人生を豊かにするために、学環で学び取ってほしいことです。

中村 誠司 さん

Team Energy株式会社
代表取締役

Profile :

1991年、経営学部を卒業後、大手証券会社に勤務。2012年にTeam Energy株式会社を設立し、節電システム開発など75社の起業を実践。現在も電力ハルス技術を活用した岩盤掘削、地熱発電など次世代ビジネスに注力している。

Topic :

アントレプレナーシップ教育は起業に限らず
社会で活躍するために必要な学び

Outline :

正解のない問いに自分なりの“答え”を出し、実現に向けて仲間と協働する——分野横断で学べるこの学環は、その力を実践的に磨く最高の環境です。ぜひ、さまざまな挑戦をし、多彩な人と問答して、自分の殻を打ち破ってください。起業に限らず、社会で活躍するための武器となる実行力や協働力を修得できます。ここで学ぶ皆さんこそが、世界に良い変革をもたらすと期待しています。

日山 史巳 さん

A.T.カーニー株式会社
パートナー 大阪・京都・神戸担当

Profile :

大学時代はガーナに留学。卒業後は総合商社、海外におけるスタートアップ経営、米系戦略ファームなどを経てA.T.カーニー株式会社に入社。キャリアの大半を海外で過ごし、エネルギー・資源、交通、製造業などを中心に10カ国以上のコンサルティング経験を有する。



仲間と多彩な事業を展開し、学生起業も実現 人生を変えたアントレプレナーシップの学び

アントレプレナー育成プログラムの授業で、実際に事業を計画するプロジェクトに挑戦しました。私たちは、学生と教員が気軽に集まり交流できる場をつくりたいと考え、カフェ運営を発案。議論を重ねて収益をうみだすビジネスモデルを構築し、2023年に学内で「SOI*カフェ」を開業しました。この挑戦を通じて、ビジネスの成功には経済・経営・法律など幅広い知識が必要だと実感。目的を持って学ぶことは楽しく、財務分析やマーケティングをはじめ、さまざまなスキルを修得できました。その学びを生かし、現在は学生の起業や交流を支援する「コミュニティ運営事業」や、本学主催のビジネスプランコンテストで最優秀賞を受賞した「障がい者雇用促進事業」にも取り組んでいます。2025年には株式会社SOIを設立し、目標だった在学中の起業を実現。京都産業大学発ベンチャー第1号に認定されました。今後は法人として事業をさらに展開し、社会に貢献していきます。本学は、学部を超えた仲間と出会う機会が豊富で、挑戦の場も多く用意されています。一歩踏み出すことで、自分の人生が劇的に前進したと感じます。

熊田 裕介

経済学部 経済学科 4年次
(香川県・大手前高松高等学校出身)

※SOI: Source Of Innovation

STUDENT VOICE

アントレプレナー育成プログラム受講生

「起業」だけでない可能性 自分自身の確かな成長を実感できた

2年次の時に、アントレプレナー育成プログラムの1つとして実施された海外渡航プログラム(オーストラリア)に参加しました。そこで、他の参加学生が英語で堂々とプレゼンテーションしている姿を目の当たりにして、自分は圧倒されるばかりで何もできないことに悔しさを感じました。表現力や実践的な力を身に付けたいと考え、本格的に受講を決心。テーマに基づいてビジネスプランを立案する「アントレプレナーシップ演習」では、自分自身の経験から、野菜など親の仕送りをパッケージ化した「仕送り便」を提案しました。高い志を持った学生との協働には刺激や学びが多く、議論を通して新しい視点に気がきました。挑戦意欲もさらに高まったと思います。アントレプレナーというと、起業や組織の立ち上げといった「成果」が目指されがちですが、それはあくまで、挑戦の先に生まれる1つの形です。私は起業するまでには至っていませんが、自分自身の確かな成長を実感しています。制約の少ない学生時代に、このプログラムを通じて自分の可能性を見つけることができ、本当に良かったと思っています。

小林 佳那子

法学部 法政策学科 3年次
(岡山県・明誠学院高等学校出身)





詳細はWebへ

INTERVIEW

教員インタビュー

分野を超えて集結した指導陣の中核を、実績豊かな教員が担います。

Topic :

探究心と行動力で未来を面白く
京都を舞台に「変革」に挑戦

Outline :

社会をもっと面白くする源は、これからの世界や未来に向き合う探究心と行動です。高校での探究学習や自主的活動に飽き足らず、その先に挑戦したい、カタチにしていきたいといった皆さんを歓迎します。本学は、京都にある一拠点総合大学。伝統と革新が交差する京都を舞台に、既に大勢の学生が挑戦し、行動しています。私たちと一緒に、「変えていくこと」を楽しみましょう。



中谷 真憲 学環長

法学部 教授

専門分野：政治学、公共政策学、
ソーシャル・キャピタル、
創発的人材育成

Profile :

長崎県生まれ、滋賀県育ち。アントレプレナーシップ学環長に就任。2013年にNPO法人グローバル人材開発センターを創設。起業家の側面も持ち、指導経験も豊富。山登りが趣味で人とは違う「道」を好む。文鳥を愛でる。

Topic :

仲間と共にイノベーションを創出
失敗を恐れず挑戦する人へ

Outline :

イノベーションの本質は、異質なもの同士の新しい結合にあります。その変革は、アイデアを試し、挑戦するアントレプレナーシップを持つ人によって成し遂げられます。挑戦には失敗がつきものですが、何度でも立ち上がり、果敢に進んでくれる人を、本学環では育てます。志を持つ仲間と共に学び、多くの経験を積み重ね、イノベーションをうみだす挑戦者へと成長しましょう。



具 承桓 教授

経営学部 教授

専門分野：イノベーション・マネジメント、技術・
オペレーション管理、サプライチェーン
マネジメント、製品開発論など

Profile :

韓国・釜山出身。今では日本で過ごす時間のほうが長くなった。「アントレプレナー育成プログラム」の主設計者。趣味は歴史、博物館や寺院巡り、映画・音楽の鑑賞など。

Topic :

ワクワクする世界をめざし
デザインと先端技術でアイデアを形に

Outline :

社会やビジネスの課題を解決し、世界を変えるアイデアを形にするには、「構想を伝えるデザイン力」が欠かせません。3Dプリンタなどで試作し、仲間と共有・共感することで、漠然とした発想が未来を動かす力に変わります。AIを活用して未来社会のためのアイデアを探索し、先端のデジタル工作機器を使いこなすスキルを磨いて、仲間と手を動かしながら、ワクワクする世界創りに踏み出しましょう。



伊藤 慎一郎 准教授

専門分野：インクルーシブデザイン、デジタルファブリケーション、パーソナルファブリケーション

Profile :

神奈川県生まれ、東京都育ち。京都産業大学情報理工学部准教授を経て、アントレプレナーシップ学環専属の准教授に就任。研究室にはモノづくりを生かした起業志向の学生が多い。趣味は、ギターやベースの演奏、街の風景の観察。

GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

INTERVIEW

合同会社 TSUKUM 代表

徳山 倅我 さん

情報理工学部 情報理工学科 2024年卒業

Q. 起業を決意したきっかけは？

先生がおっしゃった「いっぱい失敗してください」という言葉に後押しされ、学生だから許される無知や無謀さを強みに、あらゆることに挑戦しました。その1つが、在学中にあった「サギタリウス・チャレンジ^{※1}」です。採択されたことをきっかけに学生団体「TSUKUM」を立ち上げ、そこで重ねた経験が、起業につながりました。

Q. 京都で事業を展開する意義とは？

私にとって京都は、第二の実家です。「町家 学びテラス・西陣^{※2}」で起業家や同じく挑戦している人たちと出会い、大学の恩師が大学の外へよく連れ出してくれたことが、事業を起こす大きな支えとなりました。学生の挑戦を応援してくれる風土も大きな支えになりました。この地だから得られるご縁と可能性は、計り知れません。

学生時代の思い出



アルバイトをしていた「KYOTO MAKERS GARAGE」は、モノづくりの支援やワークショップを企画し、自身の技術を磨いた思い出の場所。起業家を志した原点です。2025年度から「TSUKUM」が事業を承継することになり、縁の深さを実感しています。

卒業生



大学生活を通じて磨く
起業家マインド
京都を舞台に活躍する

※1サギタリウス・チャレンジ：挑戦する学生を応援する学生サポートプログラム。優秀な企画や作品に奨励金を授与。
※2町家 学びテラス・西陣：京町家を活用した学外拠点。本学学生に加え、他大学生や地域の方などが多様に交流しています。



詳細はWebへ

ADMISSION 求める学生像

求める学生像は、「探究心と挑戦心」を持ち、「行動していききたい」人。

高等学校の探究学習や、自主的な活動に飽き足らず、社会の発展に向けて、自らの「解」を探し、それをリアル(ビジネス)にするために挑戦・行動していききたい人を、アントレプレナーシップ学環では求めます。

本気の人、集まれ。

未来に強い関心があり、多様な人から刺激を受けて、行動していききたい人

社会の諸課題に関心があり、その解決に向けて、行動していききたい人

具体的なビジネスのアイデアを持ち、その実現のための学びを進め、行動していききたい人

家業継承にあたり、新しい事業の可能性を探索して、行動していききたい人

探究・挑戦志向入試(総合型選抜入試) ※最新情報は本学Webサイトをご確認ください。

特色ある入試

趣旨

誰かに言われたからじゃない。もっと探究したいから、もっと行動したいから。「変化を待つ」のではなく「変化を起こす」——その止まらない探究心と挑戦する勇気、そして「自分がやる」という情熱こそが、社会をプラスの方向に動かす「イノベーション」の原動力です。「探究・挑戦志向入試」は、あなた自身の問いを起点にした行動・挑戦、そのプロセスと振り返り、そして未来への展望を多角的に評価します。ポイントは自己アピール動画。書類だけでは伝えきれない、あなたの本気を存分に表現できます。

選考内容/判定方法

1次選考 書類・動画審査

学校内外での探究学習や自主的活動について、志望理由書などの書類と自己アピール動画(3分)で、論理的かつ熱意をもって述べられているかを評価します。

2次選考 個人面接(約20分)

1次選考通過者を対象に、提出された志望理由書などの書類および自己アピール動画の内容について個人面接を行い、提出された資料と併せて総合的に評価します。

京都産業大学、だから。

考え方も、価値観も違う。だから、おもしろい。刺激になる。

歴史と文化に彩られた京都・上賀茂。この景勝の地に構えるのが、京都産業大学の広大な「神山キャンパス」。文系・理系、学年を超え、全学生が一拠点に集結。学び、研究、挑戦、そして仲間——すべてが、すぐそこに。

16,000人も個性と知性が交差し、新しい響きを生む。その振動は全体へ、そして社会へと共鳴を広げていく。

ここは、躍動のエネルギーが凝縮された「Energetic Campus」。本気に応えるキャンパス。

存分・自在に使いこなし、未来(ビジネス)を描こう。



Innovation ラボ

起業やプロジェクトなど、「やってみよう」をスタッフの伴走を受けて進める



Innovation HUB

ステージを備えた創発・共創スペースで、アイデアを披露する



Innovation ラウンジ

リラックスできる雰囲気のカフェスペースで、仲間と語らう



プロジェクトルーム

次の一手に向けて仲間とアイデアを磨き、計画を練り上げる



ファブスペース

3Dプリンタなどの最新の工作機器を使いこなし、カタチにする



コモンス

開放的な大空間で、仲間から刺激を受けてアイデアを拡げる



神山ホール

大ホールの舞台上で、仲間と描いた世界を変えるプランを解き放つ



動画配信・収録スタジオ

本格的な機器を使いこなし、ライブ感あふれる番組を発信する



学外拠点「町家 学びテラス・西陣」

100年を超える町家に人々が集い、大学の枠さえも超えて新しい交流が生まれる